

「漢方製剤の記載を含む診療ガイドライン」では、漢方製剤の記載があったガイドラインについて、漢方製剤が記載されている部分が、エビデンス（引用論文）に基づいた記載であるかどうかについて、3つのタイプに分類しています。

タイプ A: 引用論文が存在し、エビデンスと推奨のグレーディングがあり、その記載を含むもの

タイプ B: 引用論文が存在するが、エビデンスグレードと推奨のグレーディングのないもの

タイプ C: 引用論文も存在せず、エビデンスグレードと推奨のグレーディングのないもの

診療ガイドラインのタイプ別掲載数推移については、2013年のタイプ A: 20件、タイプ B: 24件、タイプ C: 30件から、2023年現在、タイプ A: 38件、タイプ B: 64件、タイプ C: 56件となりました。2023年では158件中113件(72%)となっており、2013年の74件中45件(61%)から11%増加しました。

